



6 長 歯 第 5 9 1 号
令和6年6月10日

長野県歯科技工士会
会長 小田切 康 二 様

長野県歯科医師会
会長 伊 藤 正 明



令和6年度 地域密着型研修会の開催について（通知）

時下、ますますご清祥のこととお慶び申し上げます。

平素、本会会務運営に格別のご協力を賜り厚くお礼申し上げます。

標記研修会を、下記の通り YouTube を利用したオンデマンド方式で開催しますので、貴会会員にご周知のうえ、多数受講賜りますよう、ご配慮方お願いいたします。

受講希望者は別紙「申込方法」をご参照のうえ、本会事務局宛にお申込みください。配信開始日に直接、視聴案内を送信します。

記

1. 配信期間 令和6年7月1日（月）～7月31日（水）
2. 内 容 別紙「日程」参照
3. 主 催 長野県がん診療医科歯科連携事業運営協議会
4. 注意事項 研修会参加後のアンケート提出をもって、出席扱いとさせていただきますので、ご了承ください。
講演内容等の二次利用はしないでください。

【連絡先】

〒380-8583 長野県長野市稲葉 2141
長野県歯科医師会 担当：福澤 貴大
TEL (026) 222-8020
FAX (026) 222-3060
E-mail info@nagano-da.or.jp

【令和6年度 地域密着型研修会 申込方法】

いずれかの方法でお申し込みいただいたメールアドレス宛に、配信開始日に直接、視聴方法を送信します。

【Google フォーム】

QR コードをスマートフォン等で読み取るか、もしくはアドレスよりフォームにアクセスし、必要事項をご入力ください。

QR コード



アドレス

<https://forms.gle/QaEq4fHXNcfafrzMA>

【メール】

本会メールアドレス (info@nagano-da.or.jp) 宛に受講希望の研修会名、所属病院名または所属団体名、氏名の3点を記載して送信。

【FAX】

以下必要事項を記載し、長野県歯科医師会宛に FAX (026-222-3060) 送信。

講習会名	令和6年度 地域密着型研修会
所属病院名 または所属団体名	
氏名	
メールアドレス	@

令和6年度 地域密着型研修会 日程

配信期間 令和6年7月1日(月)～7月31日(水)

開催形式 YouTubeによる限定配信(オンデマンド配信)

司会 長野県歯科医師会 理事 林 清永

1. 開会

2. 挨拶

長野県歯科医師会 副会長 大滝 祐吉
長野市歯科医師会 会長 小林 博昭

3. 講演

演題1 「長野市民病院における周術期口腔機能管理の現状」

講師：長野市民病院 歯科・歯科口腔外科部長 橋詰 正夫 先生

演題2 「当院歯科衛生士の周術期口腔機能管理への関わりについて」

講師：長野市民病院 歯科衛生士主任 宮澤 浩恵 先生

演題3 「最近の乳癌の治療について」

講師：長野市民病院 副院長、がんセンター長、乳腺外科部長
西村 秀紀 先生

演題4 「がん治療と栄養」

講師：長野市民病院 診療技術部 栄養科 科長補佐 春原 ゆかり 先生

演題5 「外来化学療法の実際」

講師：長野市民病院 看護部 がん化学療法看護認定看護師
塩ノ谷 美津子 先生

4. 閉会

演題1 長野市民病院における周術期口腔機能管理の現状

講師 長野市民病院 歯科・歯科口腔外科部長 橋詰 正夫 先生

【抄録】

長野市民病院における周術期口腔機能管理では院内各科の協力をいただきながら安定した運用が出来ています。しかし、その中では課題もあり今後も対策や工夫が必要と感じています。本講演では長野市民病院での周術期口腔機能管理について紹介し、今後の運用やあり方について考えてみたいと思います。また周術期口腔機能管理、病診連携に関する医療安全や感染対策についても触れたいと思います。

演題2 当院歯科衛生士の周術期口腔機能管理への関わりについて」

講師 長野市民病院 歯科衛生士主任 宮澤 浩恵 先生

【抄録】

平成24年に周術期口腔機能管理が保険適応となり、各医療機関で周術期口腔機能管理に対して取り組まれています。

当院でも、がん治療において手術、放射線治療、化学療法を受けることにより口腔トラブル、が原因でがん治療そのものが延期、中止になることを回避するために、術前・術中・術後に口腔管理（口腔機能管理+口腔衛生管理）を行っています。

口腔ケアの充実によってがん治療の効率が向上すること、患者さんのQOLを維持改善することを目的に取り組んでいます。

今回、周術期口腔機能管理に歯科衛生士が関わっていく上で、手術・化学療法・放射線治療で予測される患者への問題点について再確認し、現状を把握して今後の課題について触れたいと思います。

演題3 最近の乳癌の治療について

講師 長野市民病院 副院長、がんセンター長、乳腺外科部長 西村 秀紀 先生

【抄録】

乳がん治療は手術前後に、がんの性格（サブタイプ）に合った薬物療法（化学療法、内分泌療法、分子標的療法、免疫療法）を選択し、時に放射線療法を追加することが基本です。

サブタイプはエストロゲンレセプター（ER）とHER2の陽、陰性の組み合わせで4つに分けられ、ER陽性・HER2陰性をルミナルタイプと呼び全体の7割超を占め、内分泌療法が主体です。ER陰性では術前薬物療法が推奨され、特にHER2陽性のHER2

過剰発現タイプでは半数以上で浸潤がんが消失し、治癒が期待できます。ともに陰性のトリプルネガティブタイプには免疫チェックポイント阻害剤が使用可能になり、7割で浸潤がんが消失します。

薬物療法を中心に乳がん治療の現状についてお話しします。

演題4 がん治療と栄養

講師 長野市民病院 診療技術部 栄養科 科長補佐 春原 ゆかり 先生

【抄録】

食事が楽しみで、美味しく食べられることは、QOLの維持や向上に繋がると考えられます。逆に食事が食べられずに体重が減ってしまうことで、体力・筋力低下を実感し病気が進行しているのではないかと不安になったり、中には治療の継続が困難となることもあります。がん患者さんの中には、食事が苦痛と感じてしまう方も少なくはないです。私たち管理栄養士は、患者さん個々の症状に応じて栄養アセスメントを行い、適切な栄養管理の提案・栄養状態の改善や増悪予防・食事の苦痛軽減に努めています。患者さんとの関わりと今後の課題について触れさせていただきたいと思います。

演題5 外来化学療法の実際

講師 長野市民病院 看護部 がん化学療法看護認定看護師 塩ノ谷 美津子 先生

【抄録】

がん治療における化学療法は、免疫チェックポイント阻害剤などの新薬の開発によって大きく進歩しています。さらに、副作用への対策が進み治療の安全性が向上したため、外来治療が一般的になりました。これにより、日常生活を送りながら治療を続けることができることは大きな利点です。より安全により安心して外来治療を受けていただけるよう患者さんのセルフケアを高める支援が重要と考えています。本講演では、長野市民病院における外来化学療法の現状や取り組みについてお話しします。